

## 新型コロナウイルス感染症 Q&A ⑥

(浜松医科大学 堀井俊伸教授に聞きました。)

### 2021年3月23日現在

人の移動の抑制がみられないまま、2021年の新たな一年が始まりました。年末年始の感染者数は過去最多を更新し続け、専用病床の不足が深刻化し、機能不全に陥る保健所も出てきました。1月8日、政府は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県（大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、岐阜県、福岡県、栃木県を1月14日に追加）に限定して緊急事態宣言を再発出し、飲食店の利用、不要不急の外出・移動、イベント収容人数、リスクの高い部活動などを制限しました（3月21日まで）。1月18日、感染力が強まった英国系統の変異ウイルスによる市中感染が静岡県東部保健所管内で発生していたことが公表され、程なくして首都圏でも子供を巻き込んだ家庭・職場内クラスターが発生しました。2月17日からようやく一部の医療従事者へのワクチン接種が始まったものの、変異ウイルスが次の波の主役の座を射止めようとするかのように拡がり始めており、感染リスクの払拭されない日々が続いています。

### <Q9 変異ウイルスに対する感染予防法について>

新たな系統のウイルス（変異ウイルス）による感染者が増えるなか、学校で気をつけるべきことを教えてください。

**A :** 2021年1月の感染者数がピークを過ぎた頃、変異ウイルス（英国系統）による市中感染が国内でも発生していたことが公表されました。この変異ウイルスは、その後すぐに全国各地で検出されるようになりました。2月に入ると神奈川県で南アフリカ系統、3月には岐阜県でブラジル系統の変異ウイルスによる市中感染も明らかになりました。今後、おそらく、変異ウイルスのうちの1系統が着々と優勢となっていく、これまでの欧州系統に置き換わっていくことでしょう。今注意すべきことは、いずれの変異ウイルスも感染力が増しているため、変異ウイルスの拡大により、これまで感染者が少なかったとされる子供も感染リスクが高まり、子供を巻き込むクラスターが発生しやすくなることです。変異ウイルスも飛沫の曝露か手指を介しての感染であることから、基本的な感染予防法に変わりはありませんが、これから迎える季節、気温の上昇とともにマスクの装着を緩める子供が増えてきますと、文化系を含む部・サーク

ル活動の場などでのクラスターの発生リスクがこれまで以上に高いものとなります。変異ウイルスから子供たちを守るためには、マスクを外す場面ではおしゃべりを控えること、マスクを装着していても大きな発声を繰り返す場面では2～3 m以上のソーシャルディスタンスを確保すること、これまでの基本的な感染予防を緩めてはいけないことを継続的にご指導いただくことが大切だと考えます。なお、式典での斉唱の場面では、換気の行き届いた会場で執り行い、2 m程度のソーシャルディスタンスが確保されており、マスクを装着して一方向を向いて普通の会話程度の発声であれば感染リスクは低いといえるでしょう。

#### <Q10 旅行先での就寝中のマスクの装着について>

修学旅行などで子供たちが宿泊するとき、就寝時のマスク装着についてどのように指導すればよいのでしょうか？

**A :** 就寝中は、子供たちがマスクを装着するかどうかにかかわらず、2 m程度のソーシャルディスタンスが確保されるようご配慮ください。そのうえで、マスクを外したらおしゃべりをしないというルールが徹底できればマスクなしで朝を迎えて問題ありません。起床後、おしゃべりを始める前に再び装着するよう指導します。しかしながら、マスクをはずした後におしゃべりをしてしまう子供が1人でもいる部屋では、全員マスクを装着して就寝せざるを得ないでしょう。

#### <Q11 歯磨きについて>

歯磨きは感染リスクが高いと聞きますが、どのような対策を行えば実施できるのでしょうか？

**A :** 歯磨きの場面での感染リスクを低減させるためには、2 m程度のソーシャルディスタンスを確保し、水道栓を触る仕様であればそれに触れる前後で手指消毒を行い、静かに口をゆすぎ、マスクを外している間（待ち時間を含めて）おしゃべりをしないことを徹底する必要があります。マスクを外している間におしゃべりをしてしまう子供は最初か最後にするなど、感染防止への配慮が求められます。